R08年度 学校経営構想

学校経営構想

嘉麻市立熊ヶ畑小学校

公教育の立場

・日本国憲法
・教育基本法・教育関係法
・小学校学習指導要領
・福岡県学校教育振興プラン
・第6次嘉麻市教育アクションプラン

学校の教育目標

確かな学力と豊かな心をもち、地域を愛する
たくましい児童の育成
～「気づき、考え、実行する」熊っ子～

児童生徒，地域の実態

・明るく素直であるが自律心と社会性が未熟である。
・基礎・基本の学力は身についているが、思考力・表現力に課題がある。
・保護者は協力的だが、子どもに甘い傾向がある。
・地域行事が盛んで、保護者・地域の方が学校に協力的である。（地域の学校としての大きな期待）

目指す教師像

・教育に対する熱意と使命感を持ち、常に研鑽し指導力の向上に努める教師
・豊かな人間性と協働性をもち、互いに高め合う教師
・児童、保護者、地域から信頼される教師
・教育公務員としての自覚と責任をもち、法令順守、不祥事防止に努める教師

目指す児童生徒像

〇基礎・基本の学力が確実に身についた児童（知識・技能）
〇主体的に考え、共に学び合い、課題を解決できる児童
（思考力・判断力・表現力）
〇自他や郷土を大切にし豊かにつながりあおうとする児童
（学びに向かう力・人間力）

目指す学校像

・子どもにとっても保護者にとっても「行きたい」「行かせたい」安心・信頼できる学校
・郷土を愛し、活気に満ちた明るい学校
・保護者や地域、中学校との連携を図り、ともに児童を育成する開かれた学校

教育課題

〇興味、関心を持ち、主体的に学ぶ態度の育成
〇基本的生活習慣の確立と学習規律の徹底
〇自分のため、なかまのため、学校や郷土のため、周囲と協力して学んだことを生かす力の育成

経営課題

・学ぶ意欲向上のための授業改善と学力向上を目指す複式授業の究明
・課題意識の共有化と組織力の向上
・地域との連携による社会に開かれた教育課程の充実と実践
（コミュニティースクールの推進・充実）

重点目標

自ら学び　つながり合い　ともに伸びようとする児童の育成
（合言葉 ： 自分で　自分が　自分から）

経営の重点

〈組織運営に関すること〉
・学校運営協議会による熟議を通した地域とともにある学校づくりを進めるため、学校・家庭・地域の課題・目標・活動・評価の共有化
〈教育課程に関すること〉
・小規模特認校及びコミュニティースクールとして、地域学校協働活動を軸とした教育課程(体験活動)の積極的な工夫・改善
・教育課程の質的・量的管理(編成・実施・評価）の徹底
〈研修に関すること〉
・課題に即した授業改善（主題研修の推進）と授業力の向上を目指す効果的な複式授業の追究
・小中一貫教育を踏まえ、校区部会を柱とした校区が連携した研修の推進
・教育公務員としての自覚を高める不祥事防止研修の充実

教育課程編成の基本方針

コミュニティースクールであることを柱にして、児童に夢や目標を意識させるために、ふるさと学習やキャリア教育を中心とした中学校進学を見通した教育課程の編成及び施行する

学力向上プラン全体計画

校務運営の重点

教務運営の重点

重点的に取り組む内容（小）

全学年：当該学年学習内容未定着『0』
学ぶ意欲を育み学びの自立の確立
「熊小授業の進め方」の徹底と工夫改善

〈第1・2学年〉
学ぶことに興味・関心をもち、学習習慣や学習規律、基礎・基本の学力「読む・書く・聞く・話す・計算する」を身につけることができる。

〈第3・4学年〉
学ぶことに興味・関心をもち、学習課題に見通しをもち、自らの力で解決し、基礎・基本の学力の向上を図ることができる。

〈第5・6学年〉
学ぶことに興味・関心をもち、学習課題を解決するために、他者との対話を通して、思考力・判断力・表現力を向上させ、基本的な知識・技能を定着させることができる。

各部の重点目標

教務・学習指導部
学ぶ意欲と学力向上につながる方策の重点化と徹底、ICTの授業での活用
複式授業研究の深化、自然・社会体験活動の整理と評価、読書の質的向上

人権・同和教育、生徒指導部
規範意識の醸成や望ましい人間関係の構築に向けた指導の充実、情報(モラル）教育の質的向上
安心や人権意識・豊かな心を育む教育活動の創出と高学年のモデル化情報(
個のニーズに応じた特別支援教育の充実、ソーシャルトレーニングの充実

健康・安全教育部
ｺｵｰﾃﾞｨﾈｰｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを基本に据えた体力向上プランの実施・評価
学びの環境づくり、保護者への理解と協力

庶務部　教育活動の充実に向けた環境整備と計画的予算執行

各係の重点目標

学年経営の重点